

*この番組は、7月中旬の時点でわかっているものです。新聞の番組欄を気をつけて見て下さい。

8/3(月) NHK BS1 後9:00~9:50

BS1スペシャル「もし75年前にSNSがあったら~つぶやきから見える戦争と原爆~」

NHKでは、戦時中3人の市民が書いた日記をもとに、75年前の広島の日常をツイッターで発信している(#ひろしまタイムライン)。戦時下の日常、そして原爆投下の日を、つぶやきを通して追体験する新感覚ドキュメンタリー。

8/6(木) NHK 総合 ラジオ第1 前8:00~

「広島平和記念式典」

被爆75年となる8月6日の平和記念式典。新型コロナウイルスの感染防止のため、参列者を大幅に減らして行われることになった。番組では式典の様子を生中継。平和宣言、被爆者の祈りを伝える。

8/8(土) Eテレ 後11:00~深夜0:00

ETV特集『『焼き場に立つ少年』を探して』

「焼き場に立つ少年」。被爆後の長崎で、息絶えた弟を背負い、たったひとりで火葬の順番を待つ少年。米国従軍カメラマンのジョー・オダネル氏が撮影した。この少年が誰なのかは、いまだにわからない。番組では、その真相を探りながら、少年のような「原爆孤児」たちが生きた苛酷な現実に向って行く。

8/9(日) NHK 総合 ラジオ第1 前10:50~11:50

「長崎平和祈念式典」

被爆75年の8月9日、長崎市の平和公園から「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」の様相を伝える。今年、被爆者の平均年齢は83歳を超えた。直接被爆体験を聴くことが出来なくなる日が目前に迫る中で、どのようなメッセージが発信されるのだろうか。

8/10(月) ラジオ第1 後8:05~9:55

被爆75年ラジオ特集「手紙、キミに伝えよう」

被爆者が悲惨な体験や亡くした人への思いをつづった「手紙」を、広島と長崎の高校生たちが朗読する。気持ちを理解し声にすることで、若者たちに何が伝わっていくか。また、その声は同じ世代にどう届くのか。ゲストを招き、広島から生放送する。

8/13(木) NHK 総合 後10:00~11:15

「#あちこちのすずさん 若者が語る戦争」

20~30代の若者が、祖父母や家族に“食べ物”“おしゃれ”“恋の話”などの戦争中の思い出を聞いてSNS投稿する「#あちこちのすずさん」。キャンペーンに賛同して投稿された3000件を超えるエピソードの一部を、アニメにして伝える。今年には戦後75年。若者が語る場をデジタルメディアや地方新聞、公共機関などと共有し、輪を広げる取り組み。

8/14(金) BSプレミアム 後9:59~11:00

ドラマ×マンガ「あとかたの街~12歳の少女が見た戦争~」

母の戦争体験を雑誌に連載することになった漫画家おざわゆき。母を取材すると、戦争中にも恋があり、家族のだんらんもあったことに驚く。しかしそうした“当たり前暮らし”は、空襲によって一変する。

8/15(土) BSプレミアム 後 6:00

ドキュメンタリードラマ

「Akiko's Piano 被爆したピアノが奏でる和音(おと)」

広島で原爆によって命を落とした河本明子さん(当時19歳)。彼女のピアノは奇跡的に焼け残り、彼女をイメージしてつくられた曲「Akiko's Piano」が今年8月、広島で初めて演奏される。明子さんの在りし日の姿を日記に基づいてドキュメンタリーとドラマで描く。

Eテレ 後6:00~7:30

「#アンネ・フランク」

世界的なベストセラー『アンネの日記』の”空白のページ”をホロコーストの生存者の証言と、現代の若者の目線をつづった海外ドキュメンタリー。オスカー女優ヘレン・ミレン出演の話題作。

NHK 総合 後7:30~8:50

国際共同制作 特集ドラマ「太陽の子」

第二次世界大戦末期、京都大学の物理学研究室に下された密命は、核分裂のエネルギーを使った新型爆弾をつくることだった。研究を進める一方、兵器開発に苦悩する若者たち…。戦争に翻弄された若者たちの悲劇の物語を、史実に基に描いた青春群像ドラマ。

Eテレ 後 11:00~深夜0:00

ETV特集「サヘルの旅～生き延びた意味を探して～」

戦争孤児としてイランから来日、貧困や差別に苦しんだ少女時代を経て、いま女優として活躍するサヘル・ローズさん。生きる支えだった養母のフローラさんにかんがが見つかったことを機に「自分は本当は何者で帰るべき場所はどこなのか」と自問し始めた。人生の意味を求めて模索するサヘルさんの心の旅に密着する。

8/16(日) BS1 後 10:00~11:50

B1スペシャル「原子力の力を解放せよ～戦争に翻弄された核物理学者たち～」

第二次大戦末期、海軍が京都大学の原子核物理学者に新型爆弾の開発命令を下した。しかし、広島・長崎への原爆投下で、科学者たちは研究の結末を知る。戦争に巻き込まれていった科学者たちの葛藤と、科学技術が持つ「原罪」に迫る。

*ドラマ「太陽の子」連動

(8月下旬放送)BS1スペシャル 少年兵たちの連合艦隊～駆逐艦「雪風」の戦争～

アジア太平洋戦争中、「海軍一の幸運艦」と称された駆逐艦「雪風」。水兵のおよそ半数は10代で志願した少年兵だった。最年少の16歳のふたりの少年兵を主人公に、数奇な運命をたどった「雪風」の物語と連合艦隊の終焉を描く。

平和と戦争を考える テレビ番組(その2)

2020 年夏

8/2(日) 日本テレビ系 深夜0:55

NNNDキュメント'20「煉瓦の記憶 広島・被爆建物は語る」

世界最大の被爆建物「旧広島陸軍被服支廠」がいま、地震で倒壊の恐れがあるとして、解体の危機にあります。戦時中、軍都だった広島には、市内に少なくとも20の軍の施設がありました。軍都と被爆の歴史を語り継ぐ被爆建物。その記憶をどう受け継いでいくのか—。(広島テレビ制作)

テレビ朝日 16:30(時間は地域によって異なります)

テレメンタリー「揺れる平和都市 ～被服支廠は残るのか～」

広島市南区にある旧陸軍被服支廠。被爆後は救護所となり、その惨状を目撃した
物言わぬ証人です。昨年12月、広島県が、管理する3棟のうち1棟のみを保存する案を示したことをきっかけに、全棟存続か、一部解体かで広島が揺れています。原爆ドームをはじめ、被爆建物の持つ力を知る広島で、なぜいま解体案が出てきたのか。取材を進める中で、被爆建物の意義と保存の難しさの間で板挟みになる平和都市の実情が見えてきました。(広島ホームテレビ制作)

8/3(月) NHK BSプレミアム 13:00~15:11

映画「母と暮らせば」

井上ひさしが「父と暮らせば」と対になる作品として実現を願いながらもかなわなかった物語を山田洋次監督が映画化した。原爆で命を落とした息子と母との不思議な交流を描く。2015年制作。出演 吉永小百合・二宮和也・黒木華

8/9(日) 日本テレビ系 深夜0:55

NNNDキュメント'20「8・9長崎が壊された日～下平作江 75年の闘い」

75年前の8月9日、長崎に落とされた原爆で家族4人を失った下平作江さん(85)
10歳で、住む場所も食べ物もない中を、2歳下の妹と生きてきました。10年後には、原爆の後遺症や差別に苦しんだ妹が18歳で命を絶ちます。絶望の中、死を考えた下平さんをとどまらせたのは、伝え残そうという思いでした。
(長崎国際テレビ制作)

NHK総合 15:50~17:56

映画「この世界の片隅に」

結婚して、広島から呉にやってきた主人公すずと、戦時下に暮らす人々のなげない日常を、丹念にそして暖かいタッチで描いた長編アニメーション作品。国内 外からも高い評価を受けています。
原作:こうの史代 声の出演:のん

* 8月15日前後のTBS「NEWS23」の特集で、「綾瀬はるか戦争を聞く」が放送されます。番組表で確認して下さい。

8/16(日) 日本テレビ系 深夜0:55

NNNDキュメント'20「戦火に消えたオリンピック」

オリンピックや高校野球などが中止された今年。過去には、スポーツそのものが奪われた時代がありました。日中戦争から太平洋戦争へと突き進む中、アスリートは、活躍の場を奪われ、次々と戦場に送られました。自転車界のホープだった岡山出身の出宮順一さんは、陸軍の「銀輪部隊」としてビルマに送られ、戦死しました。当時3歳だった息子の尚さん(78)の思いは…。(西日本放送制作)

8/23(日) 日本テレビ系 深夜0:55

NNNDキュメント'20「民意再編」

戦後75年の今も、山口県岩国市の空には米軍機が飛び交います。2005年、米軍岩国基地に空母艦載機部隊を移転させる計画が浮上。市民は怒りの声を上げました。しかし、国はあらゆる手段で民意を揺さぶり、最終的に市や県は移転を容認しました。約200億円にのぼる再編交付金という移転の”恩恵”を受けとった民意は、いつしか基地がもたらす”さらなる地域振興”を求めるようになっていきました。
(山口放送制作)